放送大学ライブラリー講演会

戦前日本の探偵小説

講演の内容

明治二十年代に移入されたミステリは，まず翻案という形態で日本の地に根付き，大正末から昭和期に至る大流行期にあっては推理・怪奇・幻想・SF・伝奇・エロ等々，既成文学の枠からはみ出た奇想の宝庫として，海外に例を見ない不思議な発展をみせました。戦後エンタテインメント文化にも強い影響を及ぼした戦前探偵小説の軌跡を概観します。

講　師　茨城大学人文社会科学部教授

谷口　基　氏

日時　８月１７日(土)
14:00～16:00

会場　茨城県立図書館
視聴覚ホール

事前の申込は必要ありません。どなたでも，ご自由にお聞きいただけます。

放送大学ライブラリー講演会とは・・・

毎月１回(７月，１月を除く)，放送大学茨城学習センター教授等の専門分野について，わかりやすく解説するものです。

※できるだけ公共交通機関をご利用願います。お車の場合は，三の丸庁舎(旧県庁舎)駐車場をご利用ください。

主　催　放送大学茨城学習センター　TEL：029-228-0683

茨城県立図書館　TEL：029-221-5569　Eﾒｰﾙ：info@lib.pref.ibaraki.jp